

尼崎小田国際探求学科 卒業生より

国際探求学科（41, 42回生）、クロスカルチュラルコース（CCコース・40回生以前）の卒業生に国際探求学科についてメッセージを書いてもらいました。

国際探求学科で学んで良かったことは、英語はもちろんですが、世界の文化や情勢についても調べたり考えたりできたりすることです。中学生の時にはほとんど考えたり知ろうとしたりしなかったので、新しい視野を持つことができたのではないかと思います。私は英語や国際関係への進学ではありませんが、国際探求学科で学んだことは一般教養としても知っておいて損はないと思いました。

また、国際探求学科の一大行事といえば英語ディベートですが、クラス全員が協力し、勝利に向かって頑張ることができる行事だと思います。ディベートでは論理力、調査力、英語力が伸びますし、一生懸命に取り組むことをお勧めします。

3年間同じクラスなので、とても仲が良くなります。高校を卒業して大学が別になってしまっても未だに仲が良い人達もいるくらいです。貴重な学生時代なので、ずっと仲良くなれる友人を見つけられる点も良いのではないのでしょうか。

大変なこともあります。国際探求学科はとても楽しかったです。私の感想になってしまいましたが、皆さんの参考になればと思います。

【42回生・小田北中出身 H28卒 （奈良女子大学 生活環境学部）】



私は国際探求学科で、英語力だけではなく、コミュニケーション能力やプレゼン力も身についたと実感しています。自分が想像していた以上に、国探独自の行事がたくさんあり、忙しい時期も多々ありましたが、クラスで協力して互いに高めあえたと思います。2年生の時に、自分の興味関心のある話題について、英語でポスタープレゼンテーションや、ディベートをした経験が、今の大学での授業で大いに活かされています。

高校3年間を振り返って、一番思い出に残っているのは、ディベートです。ディベートを通して英語力がかなり伸びたと実感しています。特に英語での質疑応答を繰り返すうちにスピーキング力が上がったと思います。毎日放課後遅くまで、クラスのみならず練習したのが今となっては、いい思い出です。私の大学では、英語で議論する機会が多く、その経験を今活かしています。また、国探は3年間クラス替えがなく、自然とクラスメイトとの絆が深まります。大学生になった今でもクラスメイトとは、よく連絡を取り合っています。

【42回生・園田中出身 H28卒 （国際教養大学 国際教養学部）】

CCコースで学んで良かったと思うこと

CCコースは普通科よりも英語の運用能力を身につける授業や行事が充実しています。英語の授業時間が多く、ディベート大会や暗唱大会、語学研修など英語に触れる機会が多いのが魅力です。中学生の頃から英語をもっと勉強したいと考えていた私にとっては非常に魅力的で、進学先を決断する決め手となりました。実際にCCコースでの授業を通して、英語を話すことや勉強することの面白さを感じました。世界の人々と交流することで、文化や価値観の違う人々の存在を知ったり、日本の良さに気づいたり、そういったことを身をもって経験できたということは私にとって大変有意義でした。CCコースには、自分次第でもっと英語が学べる環境があります。英語が好きでもっと学びたいという意欲がある人には、ぜひ入って欲しいと思います。

入学する前は皆と仲良くできるか、うまくやっていたら不安でした。しかし3年間も一緒に過ごす、皆のいいところも悪いところもわかってきて、最終的にはとても楽しいクラスになりました。3年間同じクラス



で過ごすので、皆との思い出もたくさんできます。ただのクラスメイトではなく、かけがえのない仲間がたくさんできました。

CC コースでは、英語に関する行事がたくさんあります。ディベート大会ではチームを組んで協力しあい、あるテーマについて英語で討論します。テーマに関する情報を調べ、データを集めた上でどのように発表するかなどを考えます。英語で発言する練習にもなりますし、プレゼン技術も同時に学ぶことができました。語学研修ではオーストラリアに行き、ホームステイをして現地の学生たちと交流しました。現地の人々と交流して、文化の違いや日本の良さにも気づかされ、本当に有意義な時間を過ごすことができました。

【37 回生・武庫之荘中出身 H23 年卒(京都外国語大学)】



pixta.jp - 6407914

小田高校では、英語のディベート大会、レシテーション、スピーチコンテスト、HAT 神戸訪問、留学生との交流、在日の方の講演会参加、国際理解の授業といった、英語コースならではの幅広い国際的な経験をしました。カリキュラムの豊富さはもちろん、そこには自らの視野を広げるチャンスやきっかけ、とことん挑戦ができる環境がありました。

中でも一番印象に残っているのは、オーストラリアでの語学研修です。高校2年生の夏、初めての憧れの海外。空港に降り立った時の不安や緊張感、街の景色や空気、コアラを抱いた時の事、ホームステイ先での家族との会話、アボリジニ体験や現地学生との交流、英語が通じて嬉しかったこと、通じなく

て悔しかったこと…その全てを鮮明に覚えています。たった10日間の出来事でしたが、より深く語学や国際問題を学びたい気持ちが強くなり、卒業後は関西外大に進学し、現在まで英語の道で進んできました。

また、英語科での様々な行事や課題をこなしながら、運動部に所属し、生徒会活動も両立していたので、より一層濃く充実した3年間でした。英語科で忙しいから何かを犠牲にしなければならない、ということは一切なく、小田高校には一人一人の挑戦をいつも後押ししてくれる先生や仲間が多くいる素晴らしい学校です。3年間共に過ごしたクラスメイトと先生とニュージーランドからの留学生とは出会って10年になりますが、未だに切磋琢磨し合える最高の仲間であり、私にとって一番の財産です。

【36 回生・武庫東中出身 平成22 年卒(関西外国語大学)】